



祝 さんSUNベビー8人目誕生しました！

平成31年2月27日に出産されたママから手記が届きました！



長男が1歳を迎えたころ『2人目問題』が私にもやってきました。授かるかどうかの前に、夫から「2人目どうする？」と聞かれたのです。子どもはもちろん可愛くて仕方ないけど、復職して仕事に家事に育児、めちゃくちゃ大変！と思っていたので、「とんでもない！無理無理！」と答えました。私すでに30代後半、夫40代前半。夫は早いに越したことはないと思っていて(そりゃそうだ)、どうにかなるんだよ、と言われました。「いやいや、どうにかしなくちゃいけないのは結局私でしょ。」と、私は怒りマーク付きで返しました。

それから夫は、家事育児にかなり積極的に関わってくれるようになりました。せっせと洗濯物をたたみ、頼まなくてもゴミ出しをし、スマホゲームはとりあえず置いて絵本を読み聞かせ、などなど。早く言っておけば良かった！

そして長男1歳4ヵ月頃に2人目を妊娠。こんなに早く来てくれるとも思わず、驚きました。やったー！主人に報告したら「うそ。ちゃんと調べたの？」と言われました(失礼な話！)。

ただ、とにかく長男は可愛い盛りでして、私2人目ちゃんと可愛がれるのか？と心配もしました。夫に話したら笑われました。友人には、「結構そういう人いるよ。でも、大丈夫！」って。そんなこと考える私って変かな？と思っていたので、同じ様に思う人がいるんだと、妙に安心しました。

長男の出産はあまりに壮絶で、身体が壊れた体験をしました。そこからまだまだ回復途中での今回の妊娠、また年齢も重ね、とにかく体力不足を感じていました。お腹も頻繁に張り、腰痛・恥骨痛も辛かった。蛋白尿が出て心配したこともありました。ただ、お腹の子が順調に成長していたのが、何よりありがたいことでした。

2人目は女の子！を切望する主人は、ますます家事に育児に励んでいました(性別は出産後のお楽しみにしていました)。休日は長男を連れ出し、私に一人の時間を作ってくれることもありました。

長男は妊娠経過中ずっとビッグサイズでしたが、今回は平均的でした。初回で頭囲36cmを出した産道です。きっとスルリと出てくれて安産のはず、と期待していました。しかし臨月になり、そろそろだね、と周囲に言われ始めてからもなかなか陣痛が来ません。お腹は頻繁に張っていたので、毎日今夜かな？と待ち望んでいました。

満月も低気圧もなんともなく過ぎ、40週0日。予定日の妊婦検診では、推定体重約3700gのビッグベビー。まさか～…だってこれまで平均的でしたから。しかし、診察してくれた中村医師がエコー上手で、推定が大体当たるという話も聞いていました。それでも、まさかね～…でした。

結局うんともすんともなく、夫も夜の晩酌を一度も止めることなく、陣痛誘導をかける約束の日の朝を迎えました。私の中では、自然に陣痛が来て、あっという間にスルリと出産するイメージでしたので、バルーン入れて、点滴して…というのは予想外の展開。戸惑いもありましたが、まあでもここまで来たら開き直

りも大事だと、経過をずっと見てきてくださった大橋先生に身を任せ、薬が効いてくれるのを待ちました。身体が反応してじわじわと痛みが出はじめ、ああ、確かにこういう感じだった！と、久しぶりの陣痛を味わいました。途中大橋先生から、お昼抜きのアナウンスがあり心底がっくり。お腹ぺこぺこでした。

お昼過ぎだったでしょうか、破水し、職場へ戻っていた夫にラインを残して、いよいよお産に向けて分娩台に移動。

そこからはもうとにかく、陣痛の大波に乗るのみ。大橋先生やナースが「もうすぐよ～」とか「がんばって～」とか言いながら、なんだか楽しそうに談笑しているのがただただ心地よかった。ぎりぎり夫と長男も間に合いました。長男は、ただ事でない状況を怖がって泣きじゃくり、全く近づこうとしませんでした。

最終的に中村医師の応援もあり、無事に次男を出産。男の子でした。前回は本当に全く余裕がありませんでしたが、今回は、にゆるにゆるっと赤ちゃんが出てくる感触をしっかりと味わいました。

ほっとしました。無事に産まれてきてくれました。良かった。

赤ちゃんのケアをしていた大橋先生、「(体重)何グラムが良い？」とにやっとして聞かれました。それって・・・はい、驚きの3840g！むっちり良い体格、よく出てきてくれた！頑張ったね、ありがとう！

身体はまた壊れたような感じがして、しばらくはうまく歩けませんでした。

長男の次男への反応を心配していましたが、産まれたその日から、次男にちゅーや抱っこをしたがり、それもまた可愛らしかったです。

産後ひと月、私が実家に帰省している間、夫は一人で長男を見てくれていました。長男が体調崩したとき、仕事休んで病院へ連れて行ったのも初めてのことでした。超～ママっこだった長男、そのひと月ですっかりパパっこになりました。

そんなこんなで初めてのふたり育児が始まっています。てんやわんやの毎日ですが、相変わらず日々夫に助けられています。かーさんひとりでは頑張れません。本当に感謝です。

心配した二人目可愛がれるのか？は、もちろんいつの間にか消えていました。いつもにこにこ穏やかな次男坊、見ているだけで毎日幸せ。あなたは救世主だわ！ありがとう。

子どもたちは、母を選んで、順番待ちをして産まれてくるそうです。なんて素敵なことなのでしょう。いらいらしたり大声出したり、きれいごとでは済まない日もありますが、この子たちと一緒に過ごせる贅沢な時間を、これからもうんと楽しんで生きたいと思っています。

母にしてくれてありがとう！

さん SUN 助産院の母子支援活動に感謝と敬意を込めて。

また、世のすべてのお母さんたちにも敬意とエールを込めて。

坂本美保